



山形県は、地球環境や地域環境に関する活動において、功績があった個人・団体を顕彰しています。

受賞者の活動を紹介することにより、県民の皆様による主体的な環境保全活動を促進することを目的としています。

【平成11年度創設】

19回目となる今回は、「環境やまがた大賞」に 元泉地域農地・水・環境保全組織運営委員会（河北町）及び助川暢氏（小国町/個人）、「環境やまがた奨励賞」に 大久保地域元気な街づくり推進協議会/北山桜育成管理協力会（村山市）がそれぞれ受賞されました。

表彰式は、10月27日にやまがた環境展2018の中で行われ、太田環境エネルギー部長から受賞者に賞状が手渡されました。





田園の恵まれた環境を活かした環境教育活動



河北町唯一の「在来めだか」を譲り受け、無農薬・無肥料水田に放流して「めだかの学校本校舎」として開校し、その後も町内の小学校と幼稚園に「分校」を開校するなど、小学生等の環境教育の機会提供に努めています。

また、地元小学校で「おらだ田んぼの子ども博士養成講座」を開講し、「探究型学習体系」による環境教育を推進しています。





助川暢氏(小国町)

基督教独立学園高等学校及び周辺地域 における環境整備ボランティア活動

基督教独立学園高等学校退職後、環境整備ボランティアとして、絶滅が危惧されている植物や近年減少している植物を植栽する活動を継続して実施しています。

また、植栽活動を地域に広める活動にも取り組み、地域全体の環境整備につながっています。





奨励賞

地域全世帯参加による北山への桜植栽と育成管理



大久保地域全世帯が参加し、荒廃した「北山」を下刈り・樹木伐採したうえで、世帯数と同じ600本の桜苗木を植栽し、その後も継続して育成管理を行っています。

また、地元の子どもたちへの環境教育活動にも取り組んでいます。

